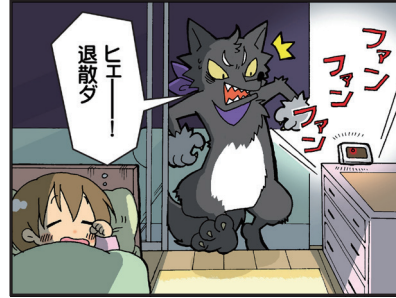


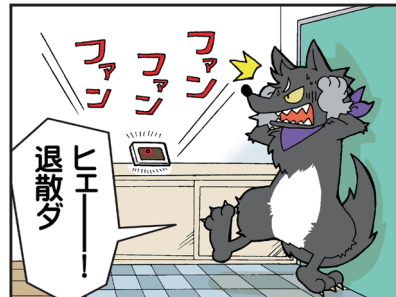
## 「ひとり暮らしの見張り番<sup>®</sup>」参考資料

### 【就寝時の侵入対策】



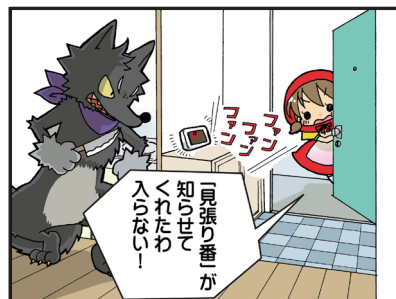
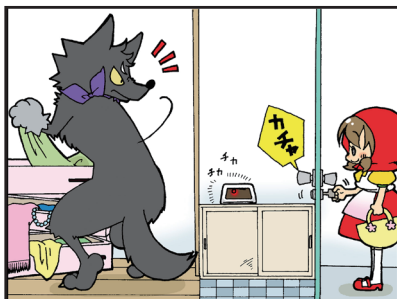
侵入者が窓ガラスを壊し、入ろうとして窓を開けた瞬間、開閉センサーが反応して、警戒マスターから 100dB の警報が即座に鳴ります。侵入者は、出端を挫かれ狼狽し、侵入を断念します。

### 【不在時の侵入対策】



不在時のドアや窓からの侵入に対して 10 秒間のウェイティングタイムの後に警報が鳴ります。このウェイティングタイムはリモコン操作を待ち、侵入者がどうかを判断するためのものです。侵入者は周囲の様子を伺いながら入り込み、これから物色というタイミングで警報に晒されることとなり、犯行継続への大きなバリアーとなります。警報は充電電池でバックアップされていて、コンセントを抜いても 3 分間鳴り続けます。

### 【空き巣の居直り強盗対策】



侵入時の警報では、侵入者を食い止められなかった場合に、帰宅した際に侵入者とはち合わせすると、居直り強盗となる可能性があります。警戒マスターは一度侵入があるとリモコンで操作しない限り、帰宅時にドアを開けたときに警報が鳴るように設定されています。ただし、侵入者が本器を破壊している可能性もあるので、ウェイティングタイムのブザー音が鳴らない場合は、不在時の侵入の可能性があります。その場合は入室することなく、速やかにその場を立ち去ります。

### 【帰宅時の押し込み対策】



帰宅して入室の際に、一緒に押し込んで入ってくる侵入者に対して、恐怖で何もできなくなっても、10 秒間のウェイティングタイムが経過すると、警報が鳴り始めます。侵入者がそちらに気を取られたタイミングで大きな声で助けを呼びながらその場を逃げ出します。警報が密室での犯罪を周囲に知らせ、侵入者に犯罪の継続を思い止まらせ、この状況を打破する次の行動への機会を作ります。

© シンフィールド